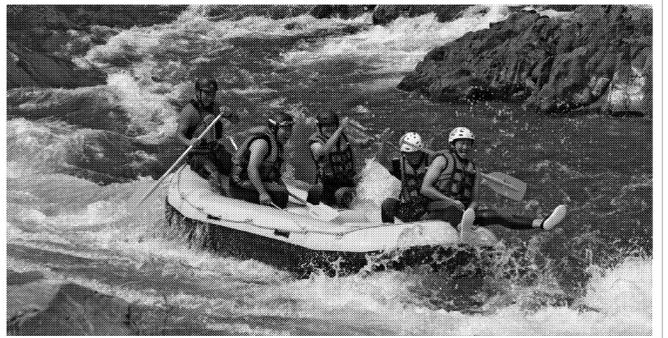


南九州の拠点へ 熊本県人吉市

観光資源「球磨川」

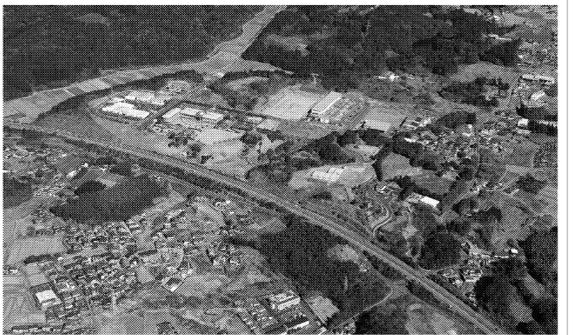
年間100万人以上が訪れる人吉の観光資源は、温泉と球磨川。温泉は弱アルカリ硫酸水素塩泉の泉質が多い。球磨川を楽しむ方法は川下りが定番。四季折々の景色をゆったり楽しむ清流コース。川から突き出た岩をすり抜けるスリルが味わえる急流コースがある。冬場はこたつが盛んな。船頭の巧みないさぎも見ものだ。最近若者を中心に自分たちでゴムボートをこぐ「ラフティング」の人数が高まっている。



急流を下る「ラフティング」

南九州の拠点へ

人吉市は宮崎、鹿児島への近さが特徴。鹿児島、宮崎の両市内へは車で1時間10分ほどで行くことができ、鹿児島空港(鹿児島県霧島市)には約40分。市の工業用地には「桐(こす)山工業団地」と「人吉中核工業団地」がある。桐山は人吉インターチェンジから1キロの距離。団地内には圧力容器メーカーや電子部品メーカーが立地する。中小企業整備機構は中小企業大学校人吉校を置く。桐山の分譲面積は60ヘクタールで、価格は1平方メートル当たり9400円。年間230万円程度でのリースにも対応する。開発中の中核工業用地は11区画。15年度分譲開始を予定している。立地に対する市の優遇制度には「固定資産税、都市計画税の免除・減免」や「工場等建設補助金」「雇用奨励金」がある。税の減免は新設の場合、3年間は全額免除。4、5年目は半額減免する。補助金は土地取得費の5130%を交付。リースには1年目の半額を補助している。



桐山工業団地(横断する高速道路の上部)



人吉温泉



復活したSL人吉

世界が認める「球磨焼酎」

球磨焼酎は人吉市と球磨郡の28歳で造られ、400年の歴史を持つコメ焼酎の総称。「スコッチウイスキー」や「ポールドライワイン」と同様に世界貿易機関(WTO)から地域的表示が国際的に認められている。人吉・球磨地域には球磨川をはじめとする清流がミネラル分を豊富に含んだ水をもち、その良質の水と寒暖差があるなどの自然環境がまた良質のコメを育む。そのよくな水とコメで造る球磨焼酎は、どんな料理にも合い、料理のおいしさを引き立てる。



良質の水とコメで造られた「球磨焼酎」

「市民みんなが健康で笑顔で暮らせるまち」を目指して

人吉市長 田中 信孝氏



人吉市は、熊本県最南端に位置し、宮崎県えびの市、鹿児島県伊佐市と接する人口約35000人の都市です。当地域は相良氏が700年にわたり統治した地域で、神社仏閣など多くの歴史資源や特有の文化、山紫水明な自然がもたらす四季折々異なった風情が楽しめる地域であります。市は現在「農業」と「観光」「企業誘致」を

基幹産業の3本柱として推進することで、県域を越え「ひと・もの・情報」が交流し、経済が活性化し、将来にわたって持続的に発展していくよう各施策に積極的に取り組んでおります。

農業につきましては、コメ、キクラゲ、トウガラシなどを地域ブランド化し、豊富な産物による第6次産業化を目指しております。企業誘致につきましては、地産地消を促した立地や南九州の要衝などの地理的条件を

阿蘇神社などの神社仏閣や、本市中央を貫流する球磨川による球磨川下りやラフティング、熊本人吉間を力強く走る蒸気機関車SL人吉など、点在する歴史資源と豊かな自然を活用し、市民一人一人が自然環境を最大限に活用し、産業の振興を図り、活気にあふれたまちづくりを進めてまいります。



球磨焼酎の歴史を伝える「白岳伝承蔵」



鮨は、どう思いますかねえ？

やっぱり米の本格焼酎でしょう。



しろ720ml 白岳1800ml